



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)

分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第7回

ジネット・ヌヴェー (仏 1919-1949 30歳没) 全3回

その2 戦後、英アビー・ロード・スタジオ(ロンドン)での録音を主体に (26-28歳)

略歴

1919年 パリ生まれ。4人兄妹の末っ子。ヴァイオリン教師でもある母の手ほどきで5歳より才能を発揮。

兄ジャンはピアノを学ぶ。

1935年 15歳でヴァニアフスキー国際ヴァイオリンコンクールで、D.オISTRAフを大差で破り、優勝。

1948年 30歳 3回目となるアメリカ演奏旅行の途上、飛行機事故でピアノ伴奏者の兄と共に亡くなる。天逝の大天才。(詳細は前回のレジュメご参照)



往年の女流
名ヴァイオリニストによる
演奏を聴く

ヌヴェーの録音は早世のため、極端に少なく、また演奏曲目も限られていますが、好きな曲は複数回録音する傾向があります。前回採り上げたショパン「ノクターン」やスーク「四つの小曲」は、今回はピアノ伴奏を兄のジャン・ヌヴェーが受け持っています。今回の演奏曲目はヌヴェーを代表する名演ばかりですが、取分けブラームスのコンチェルトでは、ライブ録音を含め4種の録音から最良と思われる演奏をお聴きいただきます。

演奏曲目

1. ショパン ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作
2. ディニーク ホラ スタッカート (ハイフェッツ編曲)
3. ファリャ スペイン舞曲(歌劇「はかなき人生」より) (クライスラー編曲)
4. ラヴェル ツィガーヌ
5. ラヴェル ハバネラ形式の小品
6. スーク 四つの小曲
7. ブラームス ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61

日時 / 5月11日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全13回 (予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>